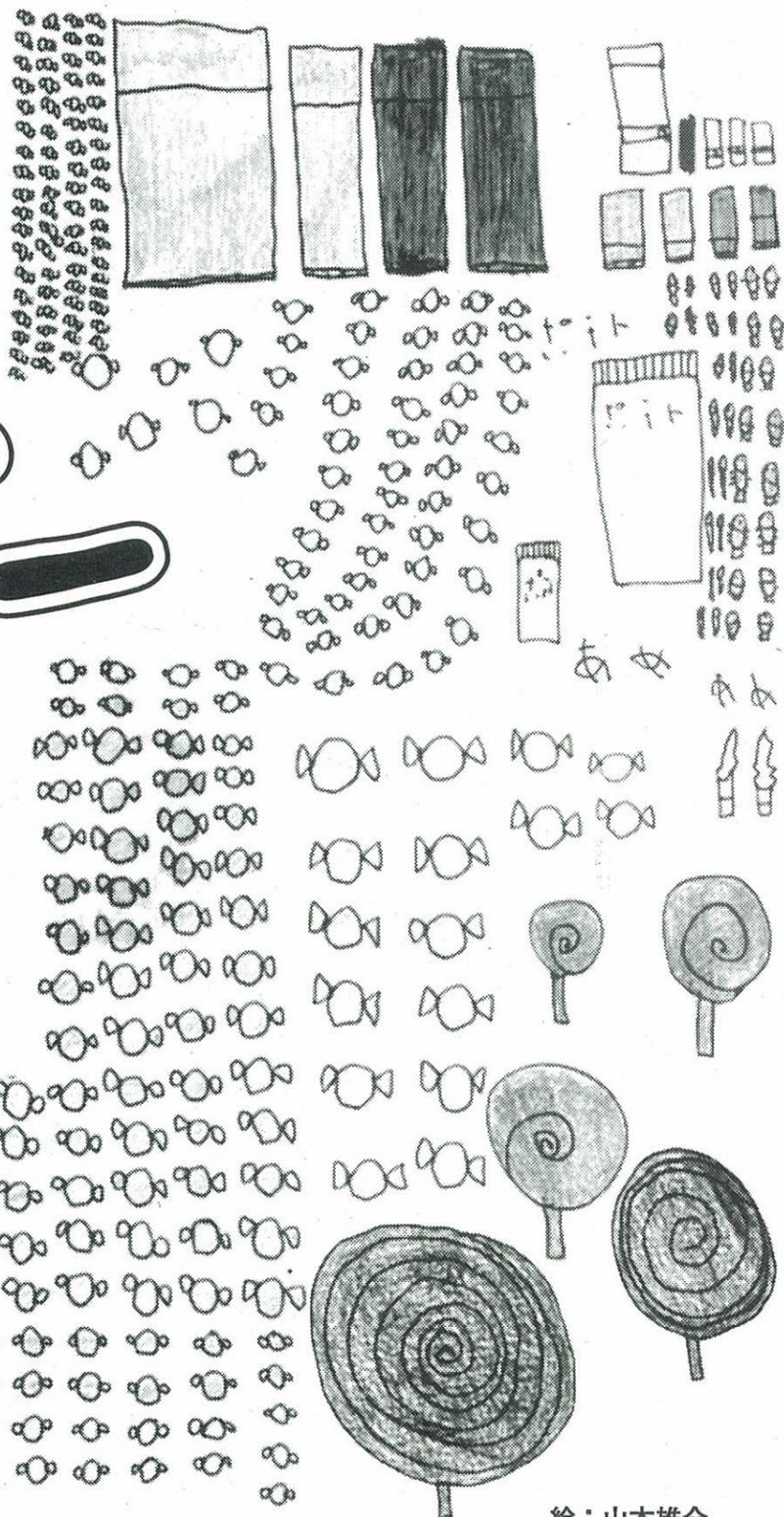
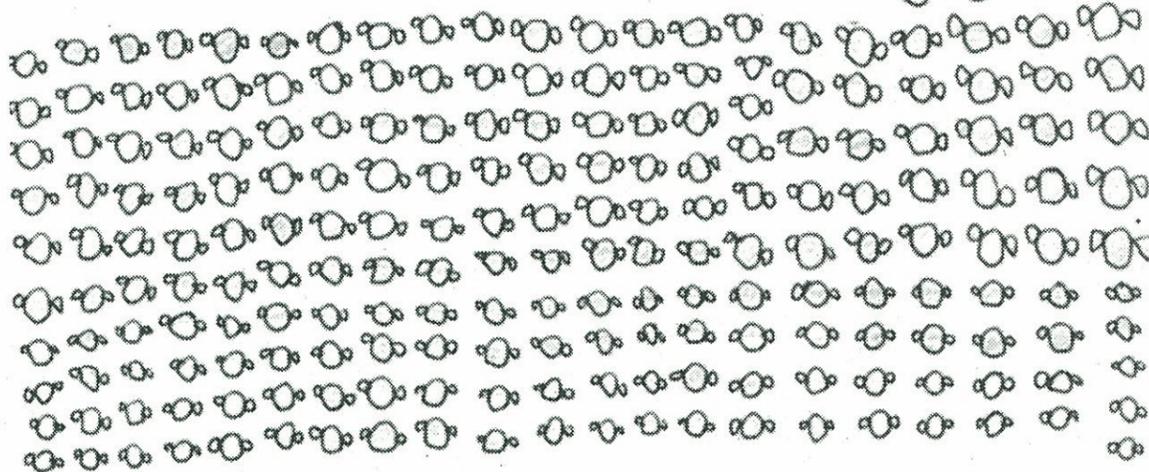




KSKR パンジー だより



絵：山本雄介



特集

グループホームでの結婚生活



生田さんと中多さんが多くの人に祝福されて結婚してから、約半年がたった。今、二人はグループホームで暮らしている。結婚式は楽しけれど、結婚生活となるといろんなことが起きる。

ある時、中多さんが他のグループホームの夕食に呼ばれた。メニューは焼き肉。次の日に中多さんがニコニコしてパンジーにやってきた。「昨日、生田におみやげを買って帰った」「何を買ったん?」「レタス!」自分は肉で夫はレタス!? 私は少々驚いた。生田さんに聞くと苦笑いしている。

別の日、「スナックに行ってきたん!」とニヤリとする生田さん。「中多さんは?」「一人で行った」とのこと。新婚なんだから一緒に遊びに行ったりしいや!と、やきもき。

でも、二人はたばこを吸うのは居間だけに、ヘルパーに洗濯を頼むかどうか等、グループホーム世話人と一緒に生活のルールを決めて生活を積み重ねている。少し古い資料になるが、2002年に東京都が行った「障害者の生活実態調査」では、647人の知的障害を持つ人の回答があった。「障害のためにあきらめたり

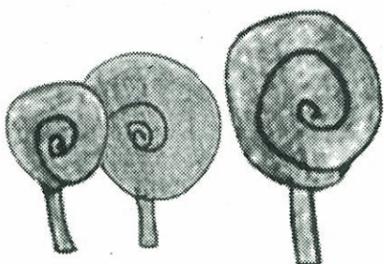
妥協したこと」という質問項目では、多い順に「就職」32.8%、「結婚」30.6%、「異性との付き合い」28.4%となっていた。

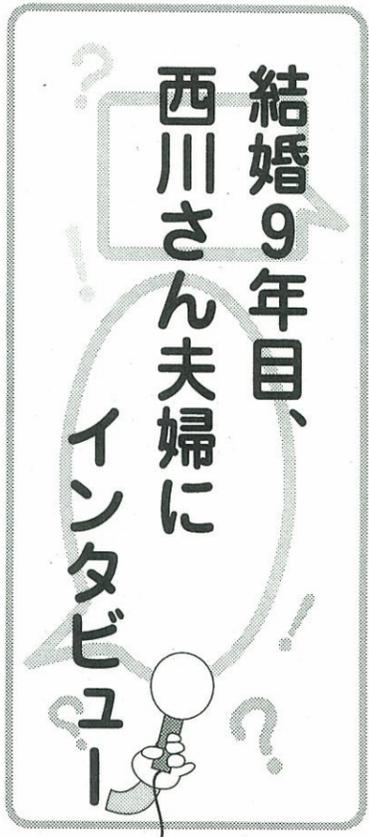
一方身体障害を持つ人の回答では「旅行や遠距離の外出」が一番多く、続いて「スポーツ・文化活動」となっている。

この結果を見ても、知的障害を持つ人たちにとって、恋愛や結婚のハードルが高いのだと感じる。

それでも結婚している知的障害を持つ人たちは少しずつ増えてきている。私たちは結婚や恋愛が知的障害を持つ人たちにとっても選択肢の一つとなるよう、自分らしく生活できるように、精一杯支えていきたいと考えている。

生田さんに二人の生活はどうですか?と聞いてみた。「好きで好きで、はなれられへんわ!」とのろけてくれた。





結婚9年目、西川さん夫婦にインタビュー

Q 出会いは？

三恵 私が23歳で、大ちゃん27歳よ。先輩から紹介されて一目惚れ。だってかっこよかったんやもん。
大吉 かわいかった。

Q プロポーズは？

大吉 結婚してくれって言うた。
三恵 すぐには返事できなかったなあ。プロポーズは施設におるとき。6年つきあつてから返事をしたんよ。

Q 家族は？

三恵 お母さんは喜んでった。おじさん、おばさんも賛成してくれました。
大吉 両親はかんまんって。(結婚していいって)

Q 結婚の具体的な話は？

大吉 間に職員が入ってくれた。
三恵 私が「そろそろ結婚したいんですが」て言うた。

Q 結婚生活の楽しいことは？

三恵 二人でおれるってことが楽しい。ダントツやな。



(ピープルファースト大会で大活躍した西川夫婦にインタビューしました。)

Q 結婚生活のつらいことは？

三恵 たまになあ。私の言うこときいてくれんことがある。すぐケンカしてしまふんよ。ちいと(ちよっと)ケンカもひいて(減って)きてかなあ。
大吉 家のことを自分ばかりがしたこと。例えば、食器洗い、掃除・・・。(笑)

Q 奥さんがつよい？

三恵 五分五分。こっちも強いでえ。怖いわ。

★結婚したい当事者に一言

大吉 障害があっても、結婚しようと思ったらどんなことにもくじけないで頑張ってください。
三恵 結婚生活は楽しいよ。

ふたりで決めたこと

昨年の9月に結婚した生田進さんと中多百合子さん。二人はグループホームで暮らしている。二人の暮らしぶりを、パンジーIIで働く岡本智さんがインタビューした。

岡本 今朝は何を食べた？

中多 コーヒーとパン

生田 コーヒーを飲んだ。

岡本 誰が作りましたか？

中多 昨日自分で買ってききました。

生田 自分で作りました。

岡本 あとかたづけは？

中多 二人でしました。

生田 たまにヘルパーにしてもらうこともあるな。

岡本 二人一緒に遊びに行くことは？

生田 カラオケに行ったな

岡本 二人でどんなところに行ってみたいですか？

中多 今、考え中！

岡本 最近、一番楽しかったことは？

生田 福岡のグループホーム

ムに住んでいる仲間が遊びに来たことやな。

中多 生田の誕生日パーティーに21人もお客さんが集まってお祝いしたこと！

岡本 結婚して良かったこととは？

中多 生田さんがコーヒーを入れてくれたり、食事の時はラップをはずしたりしてくれてる。

生田 洗濯たすかってるので

(笑)

生活しはじめた頃は、いろんなことでぶつかっていた二人。最近、ケンカも減って、二人の生活を楽しくしているように見えます。

二人がいっしょに生活するために、いろんなことを決めていきました。

あさごはんについて

・コーヒーとゆでたまごは、生田さんがつくる。



お風呂について

・中多さんは「お風呂のわかしかた」を世話人に教えてもらう。

・お風呂はどちらが先にはいってもいい。

・先にはいった人は「お先に！つぎどうぞ」とやさしく声をかけよう。



「自分達で きめる」

結婚支援の中の見守り

ハートブレイク 黒瀬清隆

当初、「結婚支援」という言葉からイメージしていたのは「結婚したいと考えている二人が、いかにゴールイン出来るように支援するか」と「その後の生活支援や性に関する支援」でした。しかし、実際の支援はそのような外形的なものばかりではなく、「こころの支援」が大きなウエイトを占めていたように感じています。

「好き同士の二人」が一緒に居たいと考えるのは、いづれも同じですが、それが結婚となると、二人にとって想像以上の心労をとまなうものとなります。ましてや、知的しやうがいを持つ人々にとっては「二人での生活を始めること」そのものも大変ですが、それ以上に「周囲の理解を得ること」が大きな壁となって現れてき



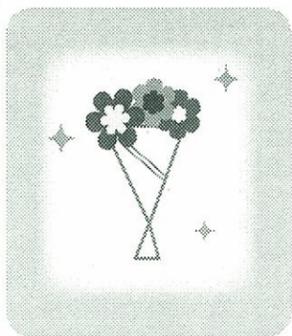
とを知った周囲の人々からの反応に一喜一憂することもしばしばありました。そんなおり、私たちは何をしていかとうと、彼らの話に耳を傾けていたにすぎなかったのです。具体的な対処方を示すケースは極めて少なく、幾つかの選択肢の提示程度しかしていません。つまり「見守り」に徹していたのです。結果として、彼らは自分たちで考えて決め、実行していったのですが、その基礎は「自分の考えがあったこと」なのです。「聴く」「待つ」という「こころの支援」はとても大切であり、パンジーにはそれが存在していることを改めて確認できた結婚支援への参加であったと言えます。

0さんの 結婚の話し合いに参加して

0さんとNさんが二人そろってパンジーに来て、「結婚したい」と言ったのは、去年の5月頃。でも具体的なイメージがわからない二人。「結婚して二人で暮らすってどういうこと？」「性について知ろう！」というところで、ハートブレイクの黒瀬さんと話し合いをしました。

0さんとNさんは、2月12日に結婚式をし、春から一緒に暮らし始めると決めました。順調にいくように見えた二人でしたが、12月上旬「まだ結婚は不安なんだ」と0さんがぼつり。マリッジブルーかな？と想像しましたが、深く話を聞いていくうちにそうではないことがわかりました。0さんがNさんのことは大好きで、結婚したいと思っているのは確実でした。でも、もつとゆっくり二人の関係を築いていくことが0さんにとって必要なのだとわかりました。

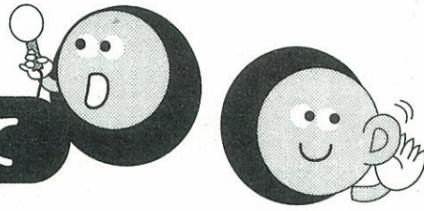
そこで0さんはNさんとよく話し合って2月12日は「結婚式」ではなく「婚約式」にすることにしました。そう決まると、今度は楽しい話でいっぱいです。「衣装は何にしよう？」「ウエディングドレスは結婚式に着るから、カクテルドレスがいいかな」「着物がいいよ！」着る服の話だけで楽しそうでした。「指輪、いつ買いに行こう？」「高いのをおねだりしないとダメよ」、なんて外部の声も聞こえます。



(幸女)

ける! 接をした

職員面接をしてみた



梅原：職員がはっきり言うてて、本音が聞けてよかった。今年は職員が多いなと思った。

松浦：いろんなことがわかってよかった。

Q 職員が入らないとわかったとき、面接をするのはやめとくと書いてたけど?

松浦：普通やったら、職員が当事者に言うてやってるから、立場が逆になったら、自分にできるかなあと思った。うれしかったことは、誰か知らんけどアンケートのなかで「1日かけて長い時間お疲れ様でした」って書いてたこと。

生田：職員無しのほうがいいわ。質問をみんな考えて、それを紙に書いてもらうのを支援者に手伝ってもらったら、あとは当事者だけでまとめるから。これからこの調子でやっていきたい

豊田：ぼくもおもしろかった。〇〇さん(職員)が、いっぱいしゃべって話が長かった。(話が長い職員には)「次の質問や!話長いぞ」って言うた(笑)

梅原：毎日一緒にいる職員には、聞きにくい。なんでやろ?

田辺：うまいこといった。職員が、僕の質問にうまいこと答えていった。

生田：〇〇さん、ちょっとふざけてた、それ嫌いやな。ちゃんと答えんかい。ふざけたらあかん。うそ言う人もあかん。うそ言う人はもう1回、面接やらなあかん。それから、紙に書いてないことも聞いてみた。カリタスの家のこと。知ってる人と、知らん人がいた。知らん人が多い。もっとピープルファーストのこと勉強してもらわなあかん。当事者にとって大切なことや、カリタスの家のことを知んのは、そんなもん職員じゃないやろ?入所施設のこと言う!一番肝心なことやねん。



松浦：疲れた。最初は怖かった。なんか職員に怒られてるみたいで…。

Q 職員は怒ってました?

松浦：いや、別に怒ってなかった

Q 職員の面接後のアンケートには「すっきりしました」等と書いてましたけど、どうでしたか?

生田：こっちもすっきりした。

豊田：僕も。

梅原：職員もいろいろ考えててしんどいやなーと思った。そら、しんどいわなー。

梅原：職員は、みんなカチコチ。なんで緊張するんやろー?

豊田：いろいろ言わなあかんからかな。

梅原：1, 2, 3年目の職員はなんか硬い。5年とか10年はやわらかい。硬いのを見ておもしろかった。

生田：今度は新人の職員やりたいな。面接するの好きでなあ。聞きたいねん。パンジーくる前はここで働いてたんや、なんでパンジーで働くようになったか。学校で福祉のこと勉強してたんか。

Q 会える会で3年前から職員の面接をしていますが、今年は何か変わりましたか?

生田：変わった。当事者だけでやった。アメリカとスウェーデンみたいに今年は職員抜きにしたのがよかった。スウェーデンは当事者が親方になってるのを思い出した。

梅原：昔は遠慮してた。職員に聞きにくいなーと思って。胃が痛くなってた。最近、いっぱい聞けるようになった。ズバズバ聞けるなーと思った。僕も変わった。

松浦：われわれをばかにすんなよ!と思った。これから職員にいろいろ言うていけるなー。

梅原：まあ、職員っておもしろいな。硬くなる人や、けっこうしゃべる人がいて、職員もこんなに違うのかなーと思った。

(聞き手: 山田佳子・西野貴善)

いたこと
か?
っていますか?
時はどんなときですか?
ですか?
いますか?
をどう思いますか?
か?
ためにどんな工夫をしていますか?
ですか?
ですか?
めるつもりですか?
?

グループホーム 介護者募集!

当事者の生活を支援する人を募集します。男性スタッフ大歓迎です。

時給1000円~/宿直手当・交通費支給
詳しくは、パンジーⅡ 0729-60-3610
までお電話下さい!

企画/編集/ブックデザイン/パンフレットなど作成します

ROSO DESIGN OFFICE

ROSO 鶯草デザイン事務所
京都市中京区三条東洞院東入妻屋町44番地
三条高倉アーバンライフ103号 604-8131
TEL.075-253-0220 FAX.075-253-0221
E-mail:roso@ed5so-net.ne.jp

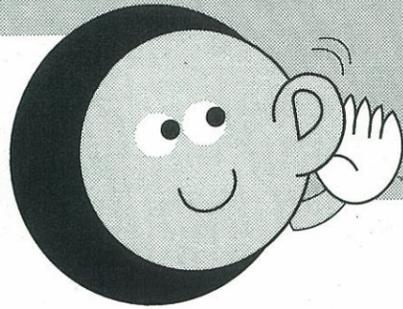
THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

大阪ゼロックス株式会社

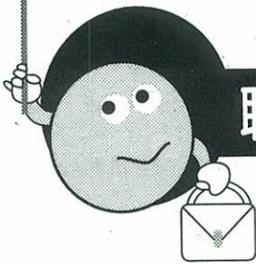
特定非営利活動法人
書物の歴史と保存修復に関する研究会

〒631-0803
奈良市山陵町236-1-103
TEL/FAX 0742-35-3471
http://www.npobook.join-us.jp
歴史遺産としての古典資料の保存修復・
コンサルティング・技術者養成

これから職員に聞いてい



当事者が職員の面



職員面接をするようになったきっかけ

2001年、スウェーデンのグルンデン協会に行ったとき、当事者が協会の理事長をし、職員を雇ったり、解雇していると知った。パンジーでも当事者だけで話し合う「かえる会」を作った。

2年前に「グループホームの介護者が辞めたり、入ったりして、顔がバラバラでわからんから、これはあかん」と考えた。そこでかえる会で職員の面接をするようになった。

2年前は、かえる会全員(9名)で職員の面接をした。初めてのことで当事者もとても緊張した。1年前は、かえる会代表が、施設長と一緒に面接をした。

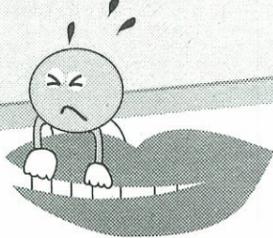
今年は、失敗してもいいから当事者だけでやってみるようになった。どんなことを質問するか、誰を面接するかなどを考えた。面接に出る当事者は「職員が話したことを秘密にできる人」ということで、かえる会の全員が自分で考えて決めた。



何きこう?

職員に聞

- 給料はなんぼもらって
- メンバーとの関係はうま
- パンジーで働いていて
- しんどい時はどんなと
- 何年働きますか?
- ピールファーストを
- 当事者が理事長にな
- 車は大切に乘ってい
- 趣味はなんですか?
- 当事者の力が大きく
- 今何歳ですか?
- 住んでいるところは
- 職員同士の関係は
- 結婚したらパンジ
- 好きな人はいてま



あなたの家から らくらく出発
貸切ジャンボタクシーで行く



21世紀最初の万博がついに開催 35年ぶりに万博がやってくる!!
期間 2005年3月25日~9月25日(185日間)

【ご旅行代金】 お一人様あたり 39,000円~63,000円(概算)
最大9名様までご乗車できます。身障者手帳・療育手帳をお持ちの方は万博特別入場券がございますので、事前にお問合せ下さい。

【おすすめポイント】 貸切タクシー利用だから気合の合う小グループ・ご家族に最適。自宅やご指定場所までお迎え・お送りしますのでらくらく旅行が可能です。大きな荷物があっても便利です。
含まれるもの……貸切ジャンボタクシー代・通行料・駐車料金・宿泊代(1泊2食)万博入場券(大人)乗務員経費
お客様のご希望により行程のアレンジは可能です。
車いすをご利用のお客様でも対応可能なリフト付き車種もございます(別途代金がかかります)
この旅行は当社「旅行業約款(手配旅行契約・包括料金特約)」によります。
詳しくはお申込みの際に担当者よりご説明させていただきます。

【ご旅行モデルコース】 ~人にやさしいサービスを心がけたお宿を厳選しました~
1日目:ご希望出発地——名古屋港——蒲郡温泉 ホテル竹島(泊)
(大阪府下に限る) ・名古屋港イタリア村(3月26日オープン)
・名古屋港水族館
2日目:ホテル——万博会場(たっぷりご見学)——ご希望帰着地
ホテル竹島(蒲郡温泉)…全館バリアフリー構造で誰にも使いやすいホテル
お部屋からは三河湾が一望でき、展望大浴場からの眺めは最高です



名鉄観光サービス株式会社 梅田支店

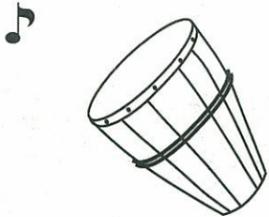
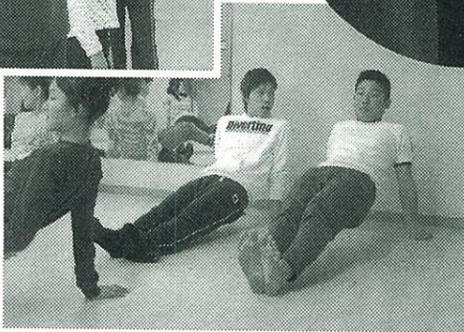
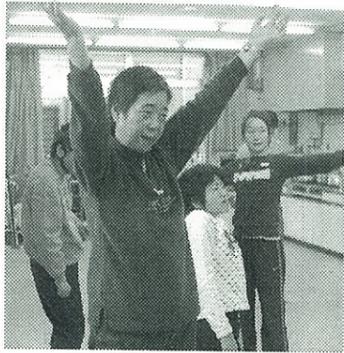
お申し込み 530-0027 大阪市北区堂山町3-3(日本生命梅田ビル内)
お問合せは 9:00~18:00(土・日・祝日除く)
名鉄観光サービス(株)梅田支店 06(6311)2168 担当:佐伯・中井

高齢の方、障害のある方、車いすを利用する方の旅づくりのお手伝いをします。
上記以外の旅行相談も、お気軽にお問合せください。

♪ パンジーの、ダダダンス!



空想民族音楽グループ 『SAYAN(サヤン)』を迎えて。



「わくわく」は相談事業も行っており、担当者から助言を求められることもある。先日不登校になつていて中学生のことで話があつた。詳細は差し控えるが、「人との安心した関係」は日常性の中で作られること、それはゆっくりで時間が必要なこと、そして傷つきこわれやすいものであることなどを改めて考えさせられた相談であつた。

以前に紹介したAさんも不登校を経験している。パンジーに通い出した当初、彼は幼少期のいじめ経験のフラッシュバックに苦しんでいた。十数年前の出来事をまるで今おこつているかのように相手の名前を叫び、その状況に怯えていた。そんなAさんとパニック解消法について、話しあつたことがある。彼は薬を飲むのが一番だが、次は楽しいことや好きな人の顔を思い出すと楽になると教えてくれた。Aさんだけでなく、話すことの出来ないメンバーの中にも、つらい体験をしてきた人はいるだろう。私はすべての子ども達は子ども時

人に対する安心感

パンジー・スーパードライザー
中新井 潘子

代に、安心できる好きな人をついてほしい作り、夢中になれるような楽しい経験をいっぱいやってほしいと思つている。書字や計算が出来なくても、大きなハンディキャップにならないが、困つていふことや嫌なこと、やりたふことを側に居る人に安心して訴えたり、支援を求めたりが出来ないのは、卒業後の人生の生きにくさにつながつてしまう。知的障害の有無にかかわらず、今多くの子ども達のニーズは学力向上よりも、人間関係力の強化にあるのではと思つて今である。

さて、Pさん、私がここ一年ほど、出来るだけ側に居て、彼の気持ちや要求のサインを受けとめ、応えようとしてきた人だ。彼はパンジーに入所する前や来た当初、かなりの物壊しや物投げをやつていた。受け入れに際して、まず安心して居場所とスタッフとの関係作り、そのためには、壊されたら困るものは部屋に置かない、破壊行動は寸前に止められるよう、スタッフは彼の側に居る。その中

で一人は怖い人の役を引き受けるなど、話し合われた。Pさんに最初用意した居場所は一人部屋、そこではハンガーの組立てを器用にこなすが、やはり皆のいる部屋が気になるようで、半年もすると自分の部屋の入りに陣どつて、部屋の物を位置や向きをチェックするようになつた。誰かが少しでも動かすと必ず元通りにしないと気がすまない。こだわりのある他のメンバーと執拗なバトルを繰り返すことがあつた。時には毛布やプラスチックの箱が被害を受けた。

あれから3年、今の彼の居場所は中庭に面したガラス戸の側、二階のテラスを含めパンジー全体が見渡せる所だ。やはりチェックは入り二階までなおしに行つたりもするが、リラクセスも出来るようになった。時々仕事もするし居眠りもする。

私のPさんへのかかわりは、まず朝の挨拶、言葉だけでなく、握手やほうず頭をなでることから始めたが、今では「お早よう」だけでうなずき返してくれる。落ち

着かないときなどは、肩をもんだり背中をマッサージして彼の反応を見る。いやがる時もあるが、まんざらでもない時もある。「もつとやってほしい人?」と聞くと最初はかすかに指を動かして意思表示した。少し刺激を強くすると声を出して笑つたりもした。それから、彼の様子を見ながら、例えば「お茶を飲みたい?」などと聞くと、イエスの時は、私の顔を見てうなずいたり、大きく手をあげたりとはつきり応じるようになった。しかし自分から要求を伝えることはなかなか出来ない。やりたいことは、いきなり実行になる。

それでも、人とかかわりを避けて、食事すら一緒に出来なかつたPさんが、先日、隣でハンガーの組立てをしているメンバーに、部品を1つずつ渡している光景が見られた時、3年という時間を重さを実感した。

●気になるエッセイ●

12年を経て 新しいステージに

社会福祉法人創思苑 理事長
林 淑美



5月下旬、東大阪市花園の銭湯を大改造して、自立生活支援センター「わくわく」とデイサービス事業を移転することになりました。改修は順調に進みレトロな雰囲気のあるすてきな事務所になりました。

今まで二つの授産施設に集中していた機能を分散させていくこと（集団の適正化と力の分散）は、2001年～2002年にかけてスウェーデンの当事者団体との交流を通して、パンジーの当事者と共に考えてきたことです。目的は違いますが、はっしんきちザ☆ハートに続いて2つめの移転になります。一步、目的に近づきました。

「人生は、らせん状に廻り

ながら進化していく」という言葉を聞いたことがありません。パンジーの運営を開始してから12年、新しいステージに立ったような気がしています。パンジーを核として、どんなに障害が重くても地域で暮らすことをめざして活動してきました。これからは、パンジーの理念を大切にしながらも、だれもが自分らしく暮らせる共生社会の実現のために、さまざまな立場の人とのネットワークづくりを模索していきたいと思っています。



まわりを見渡せば、不安を感じる事の方が多いこの頃です。効率性を重視した「障害者自立支援法」が実施されると、効率性を要求されるのが苦手な知的障害を持つ人たちにとっては、生きにくい社会になるのは確か

です。知的障害を持つている人だけではなく、誰にとっても生きにくい社会だと思えます。そのような状況の中で、どんな活動を展開していくのか、まだ漠としています。

今回の事務所の移転は、銭湯を持つている地域の人の協力を実現することになりました。たくさんの人の支えの中でパンジーが

「障害者自立支援法」を考える

創思苑理事 楠 敏雄

今年2月に厚生労働省は障害者や家族、関係者らの反対を無視して国会に「障害者自立支援法（案）」を上程しました。皆さんもご承知のように、この法案は政府が2003年に導入した「支援費制度」を、財政難を理由に一方的に中止しようとするもので、本当の目的は障害者に対するガイドヘルパーなどのサービスを減らすことをねらったものに他なりません。

まだ実施から2年を経た

これまでやってこれたことを実感しています。今、新しい何かが見つかりそうな手応えを感じています。これまでも増して、よろしくお願いします。そして、何かを一緒にできたら、とてもありがたいです。

ばかりの支援費制度を変え理由として、政府はまるで大都市部の身体障害者や知的障害者が、サービスを「使いすぎたことにあるかのような言い方をしていますが、それは明らかにごまかしです。なぜなら、元々日本の障害者に対する福祉政策は欧米諸国と比べても非常に遅れており、特に障害者が地域で暮らすための制度は非常に弱かったのです。つまり日本政府は、長い間「障害者のケアは家族がすべきだ」とか「家族がケアできないのなら、コロニーや入所施設で暮らせればいい」という考え方で政策を続けてきたのです。それが私たち障害者のねばり強い運動や、国際連合からの指摘を受けて、ようやく1995年の「障害者プラン」や「支援費制度」



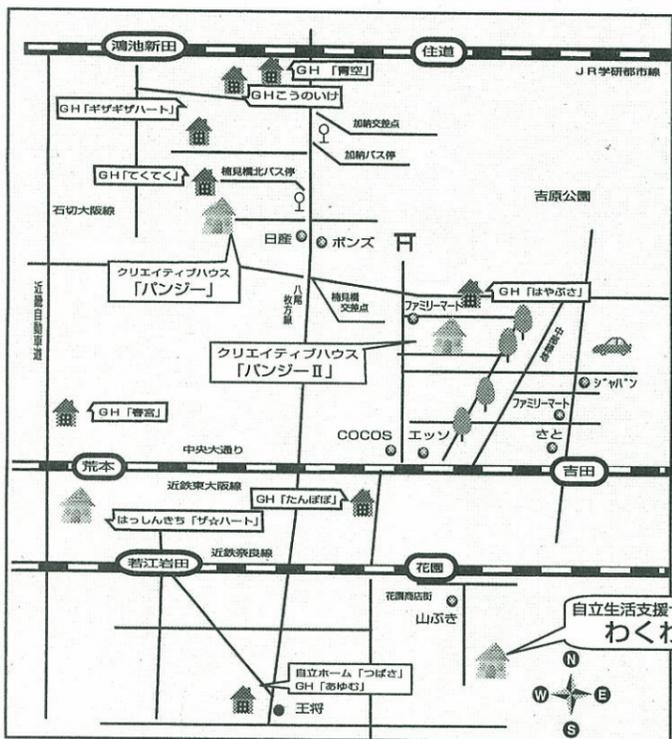
の導入によって、地域での生活がしやすくなりました。そして今度はいきなり「お金がない」という理由で「グラウンドデザイン」や「自立支援法」を打ち出してきたわけです。

厚生労働省の役人や多くの政治家は、私たち障害者や家族の危機感をほとんど理解していません。彼等は障害者の実態をほとんど知らずに、机の上で作文をしているだけのようになっています。

私たちは何もサービス料を全く払わないと言っているわけではありません。実際10万円以上の収入を得ている障害者は、日本全体の障害者の一割にも満たない状況なのです。これでは負担などできるはずもありません。

私たちはこの一年かなりのお金と体力を使って厚生労働省に抗議行動をしました。政府はあらゆる卑劣なやり方でこの法律を通してうとしていますが、私たちは戦いをやめるわけにはいきません。実際、まだ細かい内容は決まっておらず、地方自治体との交渉を通して、本間に障害者が地域で自立して生きていける制度に変えていくことが求められているのです。次の機会にはこの法律の内容について、細かく検討してみたいと思います。

自立生活支援センターわくわくが花園に引っ越しました。



★銭湯を改造した新しいわくわくです。湯船がテーブルになり、天井には大きな扇風機。そして、番台。

★くつろげる空間になりました。



- 行っているサービス
 - 知的障害や身体障害を持つ人へのヘルパー派遣
 - 知的障害を持つ人たちのデイサービス
- アクセス
 - 近鉄奈良線 河内花園駅南側出口。花園商店街を東へ進む。「山ぶき」という日本料理屋の角を曲がる。50m直進し左手。(徒歩5分)
- 連絡先
 - 〒578-0931 東大阪市花園東町1丁目17-30
 - TEL 0729-68-1556 FAX 0729-68-1557
 - E-mail wakuwaku2@pansy-net.or.jp

みんなげんき No.2



書き損じハガキ、(未使用)切手を送ってください!

ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてています。ご協力をお願いします。

ご協力ありがとうございます

〈カンパを頂いた方〉
南森康彦

〈書き損じはがき・未使用切手・お送りいただいた方〉
上田みどり、小林小夜子、田村崇

(敬称を略させていただきます)

- お問い合わせ
- クリエイティブハウス「パンジー」
東大阪市東鴻池町2丁目4-8
Tel 0729-63-8818 Fax 0729-63-8825
 - クリエイティブハウス「パンジーII」
東大阪市中新開2-11-20
Tel 0729-60-3610 Fax 0729-60-3613
 - 自立生活支援センター「わくわく」
東大阪市花園東町1丁目17-30
Tel 0729-68-1556 Fax 0729-68-1557
 - はっしんきち ザ☆ハート
東大阪市荒本2049-4-101
Tel 06-6789-6637 Fax 06-6789-6649
 - ホームページ / <http://www.pansy-net.or.jp>
メールアドレス / info2@pansy-net.or.jp

地域生活支援・ミニフォーラム 第1回

「こころ」の本質とは何か ～知的障害者の世界～

講師：滝川一廣

精神病院勤務等を経て現在は
大正大学人間福祉学教授。
著書「こころの本質とは何か」
「こころ」はどこで壊れるか
など多数。

- 日時： 2005年7月22日(金)
18:00~20:00
- 場所： ペアール東大阪大教室
- 参加費： 500円(資料代)

※日時は予定です。都合により変更する場合があります。
参加される方は、パンジーまでご連絡下さい。
TEL 0729-63-8818 / FAX 0729-63-8825
担当：久保・吉竹

主催：社会福祉法人 創思苑